

日野市子ども・若者 未来創造会議に ついて

～「未来のヒノ」を私たちが
デザインしよう～



事業の概要1

- 「日野市子ども・若者未来創造会議」とは、一般社団法人日野青年会議所と共催で行う事業で、子ども・若者が自分たちの住みたいまちを想像し、そこから日野市の未来のまちづくりを考えるワークショップです。
- グループワークの参加者は39歳以下で市内在住・在学・在勤の子ども・若者とし、子ども・若者の意見表明の機会の場としております。
- 参加者には、理想のまちについて様々な意見交換をするとともに、日野市が自分たちが考える理想のまちに近づくために自分たちに何ができるかを考えてもらう機会にもしてもらいたいと思っております。
- グループワークのファシリテーターも39歳以下で構成している一般社団法人日野青年会議所のメンバーが行う、完全に子ども・若者が主体となった取り組みとなります。
- 子ども・若者の意見表明・社会参画の機会の確保を目的に実施
(日野市子ども条例第15条「参加の権利」の保障:令和6年度 市長所信表明)
- ◆ なお、小陳副委員長もグループワークに参加しております。

事業の概要2

- こども基本法第11条より、国や地方自治体は子ども・若者の意見を聴き、その意見を尊重することが求められるようになりました。
- これからは、子ども・若者が政策の「客体(対象)」から「主体」に転換していくことになります。

【開催日】

第1回 8月25日(日曜)10:00-12:00 ワークショップ①…終了

第2回 9月29日(日曜)10:00-12:00 ワークショップ②…終了

第3回 11月3日(手をつなごう・こどもまつり) 成果発表

- ・会場内に発表内容を展示
- ・会場の子どもたちにも見てもらえるようにキーワードラリーを実施
- ・波戸副市長による講評&トークセッション(予定)

ワークショップの様子(8月25日)



ワークショップの概要(8月25日)

- 事前に申込があったので、年齢や所属などは一部把握しているところもあったが、グループ分けは、くじ引きにして、年齢層は結果としてごちゃ混ぜとなった。
- 市より事業目的(子ども・若者の意見表明、子どもの権利の一つ、ワークショップ内容は市役所の偉い人にも報告する)を伝える
- いきなりワークショップは難しいので、JCより1人・参加者より1人、自己紹介と日野市との関わりについて話をしてもらう
- 各グループでアイスブレイクとして、今ハマっていることを話しつつ自己紹介
- 住みたいまちについて、ブレスト、意見交換、特に重視することを3つにまとめる
- 次回は、今回のワークショップで出た意見について、日野市はどうか、写真に撮ったり、本やインターネットで調べるという宿題を出す
- 参加者アンケートより、様々な年代の人と意見交換できて有意義だったとの意見が多くあった。
- 開催時期、時間、場所については、必ずしも不評ではなく、参加者集めは口コミや人からの声かけの効果が高いという意見が多かった。



こういった企画で人集めをするのに効果的な方法は？

ワークショップの様子(9月29日)



ワークショップの概要(9月29日)

- 冒頭に「日野市子ども条例」について説明を行いました。
- 日野市の良いところ、伸ばした方がいいところ、もっとこうしたい方がいいところについてグループワークを行い、みんなの意見をふせんに書いて、模造紙の日野市地図に貼り付けました。
- それをまとめて、スローガンとその説明のリード文書を作成して、模造紙に書きました。
- それぞれのグループでまとめたものを発表しました。
- 参加者アンケートより、楽しくグループワークができたとの意見が多くありました。
- アンケートでは、子ども・若者が意見を言いやすい環境づくりとして、大人が子どもにも意見を聴く機会をつくる、子ども・若者が意見を言いやすくなるような工夫をするという回答が多く、同年代の人がいたり、意見を否定されないと話しやすいといった回答が多くありました。

発表内容は11/3のほか、11月下旬に市役所1階市民ホールで掲示予定